

## 鳥取県立むきばんだ史跡公園の沿革

明治 34 (1901) 年	8 月	東京帝国大学の坪井正五郎博士による高麗（孝霊）山周辺の実地調査
昭和 6 (1931) 年	4 月	京都帝国大学の梅原末治らが地元研究者と遺跡内で竪穴住居発掘
平成 4 (1992) 年	1 月	「大山スイス村リゾート計画」策定
	10 月	試掘調査開始
平成 5 (1993) 年	9 月	仙谷遺跡（現在の仙谷地区）で四隅突出型墳丘墓を確認
平成 6 (1994) 年	12 月	「晩田山の自然を守る会」発足
平成 7 (1995) 年	3 月	妻木山遺跡等の 6 遺跡（現在は地区）の発掘調査開始
	11 月	松尾頭遺跡で庇付の大型掘立柱建物跡（第 41 建物跡）を検出
平成 8 (1996) 年	4 月	松尾頭遺跡で墳丘墓 2 基を検出
平成 9 (1997) 年	1 月	洞ノ原遺跡（現洞ノ原地区）にて四隅突出型墳丘墓群を検出 文化財保存全国協議会が現地視察、淀江町・大山町へ遺跡保存要望
	6 月	日本考古学協会等が鳥取県等に保存要望書提出 「晩田山の遺跡を守る会」発足、保存の署名活動を開始 妻木山遺跡で焼失住居跡を検出（第 43 号住居跡）
	12 月	妻木山遺跡等の 6 遺跡を「妻木晩田遺跡群」と呼称 調査を総括する現地説明会を開催（約 500 名参加） 「自然と遺跡と人間を考える会」「晩田山の遺跡保存連絡会」発足
平成 10 (1998) 年	2 月	文化庁が県教委に遺跡の保存について検討を要望
	3 月	全地区の発掘調査完了 日本考古学協会が遺跡の全面保存と開発の見直しを決議 県文化財保護審議会が遺跡の全面保存を県教委に要望
	6 月	「海と山の王国シンポジウム～妻木晩田遺跡をどう活かすか～」開催
平成 11 (1999) 年	2 月	「むきばんだ応援団」発足
	4 月	ゴルフ場開発中止、遺跡全面保存決定
	8 月	「妻木晩田遺跡」として国史跡指定申請
	9 月	遺構埋め戻し工事開始 「むきばんだ遺跡全国フォーラム」開催（米子・東京・大阪・鳥取）
	12 月	「妻木晩田遺跡」として国史跡指定
平成 12 (2000) 年	3 月	「妻木晩田遺跡発掘調査報告書」刊行 土地公有化開始
	4 月	遺跡の一般公開を再開、仮展示室完成
	6 月	再公開以後の見学者が 1 万人突破
	7 月	県立博物館特別展「むきばんだ～弥生の王国～」開催 「体験考古学 発掘妻木晩田」（考古学教室）開始
	11 月	第 1 回秋麗まつり（拠点施設オープンイベント）
	12 月	国史跡指定 1 周年記念シンポジウム開催「倭国大いに乱れる」
平成 13 (2001) 年	2 月	「妻木晩田遺跡ボランティアガイドの会」発足

	4月	「むきばんだ自然教室（自然観察会）」開始
	5月	第1回「新緑まつり」（復元火まつり食まつり） 「整備活用基本構想」策定
	8月	遺跡シンボルマーク決定
	11月	第2回弥生文化シンポジウム開催「日本海（東海）がつなぐ鉄の文化」
平成14（2002）年	10月	手作り竪穴住居竣工
	11月	第3回弥生文化シンポジウム開催「日本海をのぞむ弥生の国々」
	12月	入場10万人達成
平成15（2003）年	6月	企画展「弥生時代からのメッセージ」開催（米子市美術館）
	10月	「妻木晩田遺跡整備活用基本計画」策定
	11月	第4回弥生文化シンポジウム開催「山のムラ妻木晩田・海辺のムラ青谷上寺地」
平成16（2004）年	3月	洞ノ原地区初期整備完了
	9月	第5回弥生文化シンポジウム開催「弥生のすまいを探る」
平成17（2005）年	10月	入場20万人達成 第6回弥生文化シンポジウム開催「倭人の世界」
平成18（2006）年	4月	「むきばんだジュニアファンクラブ」開始
	5月	「親子写生会」開始
	8月	「サンセットビューウィーク」・「星座観察会」開始
	9月	第7回弥生文化シンポジウム開催「倭人の生きた環境」
平成19（2007）年	4月	「お気軽♪弥生気分！」開始（土日祝日等の古代体験）
平成20（2008）年	3月	妻木山地区の一部を国史跡追加指定
	6月	「むきばんだ弥生の国邑写真コンクール」開始
	8月	「考古学講座」開始
	11月	入場30万人達成
平成21（2009）年	3月	第9回弥生文化シンポジウム開催「妻木晩田の人が愛した色」 妻木山地区にて「弥生の森植樹祭」実施
	8月	鳥取県が国史跡妻木晩田遺跡の管理団体に指定
平成22（2010）年	4月	鳥取県立むきばんだ史跡公園の設置及び管理に関する条例施行、「鳥取県立むきばんだ史跡公園」に名称変更 ガイダンス施設「弥生の館 むきばんだ」開館 「第56回鳥取県植樹祭」開催
	5月	「古代の丘歴史発見ウォーク」開始
平成23（2011）年	4月	妻木山地区の弥生のムラ完成公開
	11月	入場者40万人達成
平成24（2012）年	4月	仙谷・妻木新山地区公開・グランドオープン（第1期整備前期完了）
	5月	出雲－妻木晩田・丸木舟航海体験
	8月	なりきり弥生人生活（竪穴住居宿泊体験）スタート
平成25（2013）年	3月	むきばんだ史跡公園グランドオープン記念シンポジウム「東・西日本からみた山陰の弥生文化」開催
	4月	新緑まつりに代わり日替わりイベント「GWはむきばんだ日和」開催

	8月	むきばんだ日和・サマーナイト開催
	9月	新緑・秋麗まつりを統合した「むきばんだまつり」開催
	10月	船上山少年自然の家・大山青年の家・むきばんだ史跡公園3所連絡会議開始
平成26(2014)年	9月	鳥取県電気工事業工業組合から創立50周年記念事業として、電気自動車用普通充電器1台受納
平成27(2015)年	2月	遺物収蔵庫完成
	3月	来園者50万人達成記念セレモニー
	12月	妻木晩田遺跡ボランティアガイドの会結成15周年記念植樹式(ケヤキ)
平成28(2016)年	1月	国史跡妻木晩田遺跡史跡指定15周年記念シンポジウム「激動の3世紀を生きる～弥生時代の終焉と妻木晩田遺跡～」開催
平成29(2017)年	9月	「むきばんだ女子考古部」開始
	11月	入場者数60万人達成
平成30(2018)年	2月	第2回とっとり弥生の王国シンポジウム開催「倭人のデザイン」
令和元(2019)年	4月	指定管理者制度導入(施設管理等)
	12月	国史跡妻木晩田遺跡史跡指定20周年
令和2(2020)年	3月	第4回とっとり弥生の王国シンポジウム「倭人のつながり」※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	4月	ガイダンス施設「弥生の館むきばんだ」開館10周年
令和3(2021)年	4月	妻木晩田遺跡ボランティアガイドの会結成20周年記念植樹(アラカシ)
	6月	入場70万人達成

